

# シンフォニー

地域と医療が奏でる♪

NO.  
**58**  
September

年3回発行(1月・5月・9月)



**Da VinciXi**

バージョンアップXi  
手術支援ロボットダビンチ



**Opening**

新規開設  
肩・肘関節外来



**Filming location**

当院が医療ドラマの  
ロケ地になりました



特集：最先端ロボット手術最新機種「ダビンチXi」導入／  
2024年新任医師のご紹介

# 最新機種の手術支援ロボット 「ダビンチXi」を導入



副院長・外科科長

金 達浩 医師

身体への負担が少なく、患者さんに優しい低侵襲性の手術を提供します。



当院では、最先端の低侵襲手術である「ロボット支援手術」を2021年4月から開始しました。泌尿器科では前立腺がん、腎がん、骨盤臓器脱など、外科では大腸がん（結腸・直腸がん）や手術が難しい膵臓がん、肝臓がんに対しても積極的にロボット手術を行っています。

今年6月に、これまで使用してきたロボット支援手術システム「ダビンチX」を最新機種である「ダビンチXi」にバージョンアップしました。基本的な手術機能はまったく同等ですが、最新の「ダビンチXi」では手術アームが支点を中心に回転することで、広い範囲での操作が必要な手術がより容易に可能となりました。

## 第4世代のロボット支援手術システムである「ダビンチX」「ダビンチXi」の特徴

1 最大14倍に拡大可能で遠近感のある3Dハイビジョン画像を見ながら手術を行うことができます。

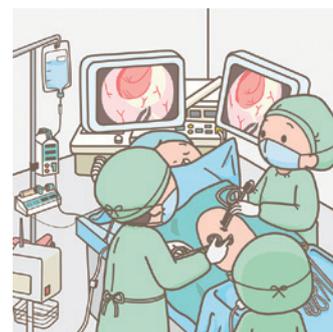
2 4本の手術アームそれぞれが執刀する医師の手の動きを忠実に再現するだけでなく、人間の関節を上回る可動域を備え、しかも手ぶれを補正する機能も持ちます。

傷が小さく身体に優しい通常の腹腔鏡手術の利点そのままに、人間の手による開腹手術と同等以上の極めて精密な手術を行うことができます。



## 当院では泌尿器科と外科を合わせてすでに“400例をこえる手術”を安全に行っています。

ロボットを操作するのは執刀医であり、高い技術が必要であることは言うまでもありません。当院には、ロボット手術を多数経験し、他の病院がロボット手術を開始する場合に指導することができる「プロクター」資格に認定された医師が泌尿器科・外科に5名在籍しています。多数の腹腔鏡手術、高難度がん手術を行ってきた経験を活かし、麻酔科医・手術室看護師・臨床工学技士などのスタッフとチーム一丸となって、皆さまにより安全で負担のない手術を受けていただけるよう努めてまいります。御興味のある方はホームページよりご確認ください。



## 2024年新任医師のご紹介 Doctor introduction

新しく常勤医師が着任しましたのでご紹介させていただきます。



Doctor introduction

救急・集中治療科 医長  
**藤井 達也** Fujii Tatsuya

診療疾患  
重症患者全身管理全般

集中治療科は多くの方に馴染みがないと思います。手術など専門治療は致しませんが、「心不全や腎不全など複数の臓器疾患を持った方の大手術後の肺炎」などの複数科にまたがる重症病態を専門としております。その中で培った知識を活用して、一般病床患者さんの栄養、感染、リハビリテーションなどを円滑に行うチーム活動にも積極的に参加し、地域に貢献いたします。



Doctor introduction

脳神経外科  
**渡邊 定克** Watanabe Sadayoshi

対応疾患  
脳血管障害

脳血管障害に対する内科治療、開頭手術、血管内治療を中心に、脳神経外科疾患全般の診療を行ってきました。地域の中核病院である東大宮メディカルセンターの脳神経外科にて、故郷の医療に貢献できることを大変喜ばしく思います。脳の疾患をかかえた患者さんやご家族は大きな不安を感じていると思いますので時間をかけた丁寧な説明を心がけています。急性期治療から慢性期治療まで、患者さん一人一人の病態や背景に応じた最適な治療を提供させていただきます。



Doctor introduction

膠原病・リウマチ内科  
**森 浩章** Mori Hiroaki

診療疾患  
関節リウマチ、膠原病全般

この度膠原病・リウマチ内科に入職いたしました、森浩章です。膠原病は患者様にも医療者にも、よくわからない疾患、と思われていることが多いように思います。私も研修医時代はそうでしたが、様々な患者様や先生方と接して、少しずつ理解を深めていきました。まだまだこれからの身ではありますが、ご不明点がありましたら、遠慮なくお声かけ下さい。患者様の主訴を大切に、その方のためになる診療を心がけていきます。



Doctor introduction

整形外科  
**倉茂 秀星** Kurashige Shuusei

診療疾患  
肩関節、膝関節、人工関節・関節鏡四肢一般外傷

初期研修終了後の2014年より北海道大学整形外科へ所属し、整形外科研修後に上肢グループとして肩関節を中心に肘、手外科も学んできました。2023年より1年間新潟中央病院で膝関節を学び、今日に至ります。新しいことを学びつつ、自身の経験も生かしながら地域の医療の一員となればと思います。よろしく願いいたします。



Doctor introduction

消化器内科  
**平塚 智也** Hiratsuka Tomoya

対応疾患  
消化器疾患全般、内視鏡治療全般  
(食道・胃・大腸のESD、静脈瘤治療、止血術など)

本年度から赴任させていただきます。大学病院で主に内視鏡治療や緊急内視鏡手技を専門とした治療を行ってきました。訪問診療なども長年携わってきたので専門医療と地域医療を結ぶような医療を目指してやっています。今までの経験をいかしながら患者様に寄り添う医療ができればと思っておりますのでよろしくお願い致します。



Doctor introduction

泌尿器科  
**関場 智啓** Sekiba Tomohiro

対応疾患  
泌尿器科疾患全般

本年度から泌尿器科専攻医として赴任させて頂きました。埼玉県内で初期研修を行い、専攻医として地元に戻って参りました。故郷で医療での貢献ができることを嬉しく思うと同時に、地域の皆様のお力に少しでもなれるよう、精進して参ります。よろしく願いいたします。



## 肩腱板断裂の 治療について

整形外科では四肢の関節、脊椎の疾患を広く扱っています。今回は肩の疾患で多い腱板断裂の診断や治療を紹介します。

整形外科 倉茂 秀星医師



腱板断裂は文字通り肩の関節を支えている4枚の腱(棘上筋、棘下筋、小円筋、肩甲下筋)が切れてしまう状態で、それ自体は無症候性(痛みなどの症状が無い状態)を含めると相当数存在すると言われています。

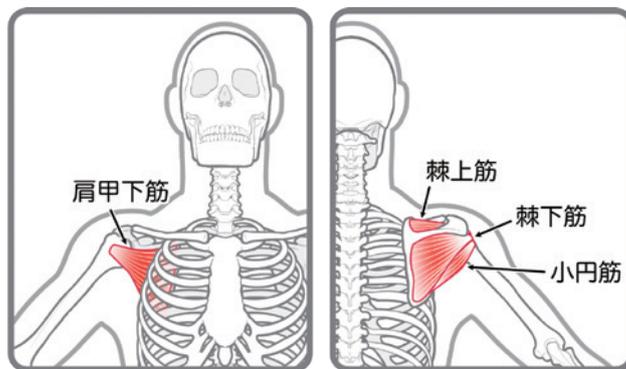
特に70歳代以降では、3人に1人は何らかの腱板断裂が存在すると言われています。

この中で、肩の痛みが出てきた、動きが悪くなってきたなどの症状で整形外科を受診し、検査の結果、腱板断裂と診断されることになります。

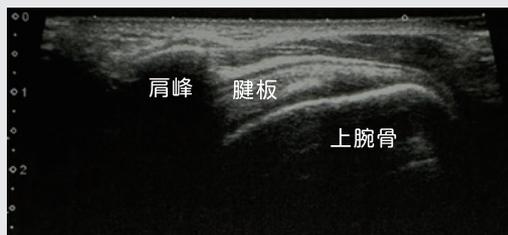
画像診断にはX線検査(レントゲン写真)のほか、超音波検査、MRIの検査を用います。基本的に保存治療の成績が良く、鎮痛薬の内服や運動療法により症状が改善することが多いです。

また、侵襲的な治療にはなりますが、追加の保存治療としてヒアルロン酸の注射、超音波画像で見ながらのステロイドの注射も有効で、多くの人はここまでの治療で症状の改善が見られます。それでも痛みが続く、日常生活に支障を来すなどの場合には、手術治療を考慮します。

手術は肩に数カ所の穴を開け、関節鏡を用いて切れてしまった腱板を修復します。腱板断裂の範囲が広く筋肉が弱ってしまっている場合や、既に肩の関節自体が痛んでしまっている状態では腱板を縫うことはできず、人工関節などの手術方法となります。



### ■超音波画像検査



### ■手術方法



当院でも患者さんの状態や生活様式、仕事内容などを考慮し、オーダーメイドでの対応を致します。



# 健康たいそう講座

当院リハビリテーション科スタッフがおすすめの体操をご紹介します!



## 知らぬ間に進行する“骨粗しょう症”

骨粗しょう症とは骨密度が減る、または骨の質が低下することをで骨がもろくなり、骨折しやすくなる病気です。今現在、骨折や腰・背中への痛みが無くても、骨が弱っていると骨粗しょう症と診断されます。骨粗しょう症による骨折をきたすと寝たきりや認知症につながることもあります。



健康な骨



骨粗しょう症の骨

骨の健康度チェック表		
次の項目について、当てはまる部分の点数を合計してください。あなたの骨の健康度がわかります。		
1	牛乳、乳製品をあまりとらない	2点
2	小魚、豆腐をあまりとらない	2点
3	煙草をよく吸う	2点
4	お酒をよく飲む方だ	1点
5	天気のいい日でも、あまり外に出ない	2点
6	体を動かすことが少ない	4点
7	最近背が縮んだような気がする	6点
8	最近、背中が丸くなり、腰が曲がってきた気がする	6点
9	ちょっとしたことで骨折した	10点
10	体格はどちらかと言えば細身だ	2点
11	家族に「骨粗しょう症」と診断された人がいる	2点
12	糖尿病や、消化管の手術を受けたことがある	2点
13	女性：閉経を迎えた 男性：70歳以上である	4点

## 結果の見方

あなたの合計点数に当てはまる項目をご覧ください

### 2点以下

今は心配ないと考えられます。これからも骨の健康を維持しましょう。改善できる生活習慣があれば、改善しましょう。

### 3～5点

骨が弱くなる可能性があります。気をつけましょう。

### 6～9点

骨が弱くなっている危険性があります。注意しましょう。

### 10点以上

骨が弱くなっていると考えられます。早めに医療機関を受診することをおすすめします。

## 自宅でできる運動療法

### 1 かかと落とし



- ①イス等につかまって立ち、その状態からかかとを高く上げてつま先立ちになる。
- ②つま先の力を抜いて、かかとをトンと床に落とす。



- ・2秒に1回のペースで繰り返す
- ・膝が曲がらないようにする

### 2 1段昇降（難易度やや高）



- ①階段を用いて1段目をあがる。
- ②壁や手すりにつかまり、後ろに片足を1歩だす。
- ③そのままかかとを床にトンとついて1段降りる。
- ④反対側の足でも行う。



- ・体重の約1.5倍程度の負荷がかかるため、骨粗しょう症を発症していない人や「かかと落とし」に慣れた人向け。

効果が期待できる推奨

▶▶50回を1セット

▶▶1週間に3日以上

▶▶6ヶ月以上の継続

出典：Bae S, Lee S, Park H, et al. Position Statement: Exercise Guidelines for Osteoporosis Management and Fall Prevention in Osteoporosis Patients. J Bone Metab. 2023;30(2):149-165.



いずれの運動も、痛みがある場合は無理せず、医師や理学療法士にご相談ください。

当院整形外科の岡田医師が「骨粗しょう症」をテーマに動画を作成しました!

病気予防のための運動のほか、食生活や健診についても紹介していますのでぜひ見てみてください!





## クリティカルケア認定看護師の活動を始めました

クリティカルケアという言葉をご存知ですか？  
生命の危機的状態にある重症患者さんに対するケアを意味します。



クリティカルケア認定看護師 猪瀬 有美

私は、集中治療室で勤務しながら、クリティカルケア認定看護師として活動をしています。クリティカルケア認定看護師は、病状が変化しやすい急性期の患者さんやそのご家族に対して、重症化させないための看護や早期回復に向けた看護の実践を行う役割を担っています。重症な患者さんは、集中治療室だけではなく一般病棟にも入院されています。具体的な活動としては、集中治療室の医師や呼吸サポートチームと連携をとりながら、全ての病棟の回診を行い、容体が悪化しそうな患者さんはいないか確認しています。また、集中治療室を退室した患者さんやご家族が心身ともに順調な経過をたどれるように継続的な支援もおこなっています。その他にも、病院全体が質の高い看護を実践できるように、看護師からの相談を受けたり、講義などによる教育もおこなっています。

私の願いは、入院している全ての患者さんが急変や重症化せず回復することです。そのためにこれからもクリティカルケア認定看護師としての活動をしていきたいと思っています。



## 薬剤師のつぶやき..

手術前に知っておきたい!

## 中止が必要な薬剤とサプリメント



手術前には中止すべき薬剤やサプリメントを慎重に選ばなくてはなりません。

一般的に、ワルファリンやアスピリン等の抗凝固薬や抗血小板薬と呼ばれる血液を固めにくくする薬剤は出血リスクを増大させるため、手術前に中止されることが多いです。これらの薬剤は手術の数日前からお休みし、手術後の再開時期も医師と相談することが重要です。

また、サプリメントも手術に影響を与える可能性があります。例えば、ビタミンE、DHA、ニンニク、イチョウの葉等は出血傾向を高めることが知られています。これらのサプリメントも手術の少なくとも1~2週間前から休止することが推奨されます。

最後に、手術前に中止が必要な薬剤は今回ご紹介した出血を助長するものだけではありません。他にも注意が必要なものがありますので、飲んでいる薬剤やサプリメントは必ず担当の医師や薬剤師に相談するようにしてください。



# 栄養 アラカルト

## 当院の行事食、郷土食を紹介します。

少しでも入院中の楽しみとなるよう、毎月さまざまな特別メニューを提供しております。



鹿児島県の郷土食「からいせ飯」



9月「敬老の日」献立

## 今日から始める“骨活”!



皆さん、自分の骨について考えたことはありますか？

骨折しにくい健康な骨を保つためにも、今からでも、骨を強くする活動「骨活」をおこなってみませんか？

### 食事に骨活を取り入れる

骨を強くするために、特に大切な栄養素を紹介します。

#### カルシウム 骨の主成分となる

多く含む食品 乳製品、魚介類、大豆製品、緑黄色野菜

#### ビタミンD カルシウムの吸収を助ける

多く含む食品 きのこ類、魚類

#### ビタミンK 骨の形成を促す

多く含む食品 葉物野菜、納豆



これらの栄養素をとりつつ、バランスの良い食事をとるように心がけましょう。

## 小松菜ときのこのシチュー

当院では、骨活メニューとして提供しています!



### 材料 (4皿分)

- ★鶏モモ肉 ……320g (塩、胡椒で下味をつける)
- ★小松菜 ……2束
- ★しめじ ……1パック
- ★しいたけ ……大2個
- ★じゃがいも ……中2個
- ★玉葱 ……中1個
- 水 ……400ml
- 牛乳 ……200ml
- サラダ油 ……適量
- シチュールウ ……4皿分 (概ね70g)
- 乾燥パセリ ……適量

### 作り方

- ①鍋にサラダ油を入れて加熱し、一口大に切った★の具材を入れ、炒める
- ②水400mlを入れ、煮込む
- ③火を止め、シチュールウを入れて溶かす
- ④牛乳200mlを加え、煮込む
- ⑤器に盛ってパセリを振り、完成

## 近隣施設紹介



### 夢眠クリニック大宮北

当院は大宮北高校の近くに開院し、地域の受診者様及び利用者様はもちろん、そのご家族様にとっても安心してお任せいただけるような診療に努めております。現在は、内科及び総合内科での外来診療、在宅や施設での訪問診療に加えて健診センターを併設し、様々な年齢層の方に安心と健康をご提供できるよう対応しております。健康にご不安をお抱えの方は、是非当院へお問い合わせ又はご来院ください。スタッフ一同、心よりお待ちしております。

医療機関名	夢眠クリニック大宮北
住所	埼玉県さいたま市北区奈良町32-6
電話番号	048-662-8100
院長	鈴木 良平
外来時間	【午前】 月～金曜日 8:30～12:00 【訪問診療】 24時間365日対応可能 ご依頼電話▶048-662-8100
駐車場	12台完備



# 患者サロン いこいの場

当院は2012年に埼玉県がん診療指定病院の認定を受けてから現在に至るまで、がん治療の発展と地域のがん診療の充実のため様々な取り組みを行ってまいりました。

今回は取り組みのなかで、患者さん同士の支えあいの場「患者サロン いこいの場」を紹介させていただきます。

患者サロンとは、がん患者さんやそのご家族など、同じ立場の人が、  
がんのことを気軽に本音で語り合う交流の場のことです。



当院では、年に4回(2月・5月・8月・11月)開催しております。当院に通院されている患者さん、ご家族であればご自由に参加ができます。当院を受診したことがない患者さんに関しては、がん相談支援センターへご相談ください。

いこいの場では、毎回院内の専門職の講師を招き、お薬のこと、栄養のこと、社会保障制度のことなどについての講義も行っております。

開催日時の詳細は、随時当院ホームページのインフォメーションや院内掲示にてご案内しております。事前申し込みは不要となっておりますので、ご希望の方はお気軽にお越しください。

## 診療実績

(2024年4月～2024年7月平均)

入院稼働率	94.1%	救急搬送件数	472件/月
1日平均入院患者数	266.7人	手術件数	284件/月
平均在院日数	14.9日	紹介患者数	904件/月
1日平均外来患者数	516.8人		



当院が  
ロケ地に!

医療ドラマ「アンメット ある脳外科医の日記」に登場する丘陵セントラル病院のロケ地になりました。撮影はすでに終了しました。とても貴重な経験でした!



## 交通案内図



JR	宇都宮線・湘南新宿ライン・上野東京ライン 「土呂駅」東口より 徒歩約11分
東武アーバンパークライン	「大宮公園駅」より 徒歩約9分
自動車	首都高速埼玉新都心線「さいたま見沼」ICより 約18分 東北自動車道「岩槻」ICより 約21分

